

Green-GO MCX * EXT 24チャンネルMCX用エクステンション



Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX/MCXD用エクステンションにより、MCX*ラックまたはテーブルステーションをそれぞれ 24 チャンネル拡張できます。コンパクトな設計により、ワークステーションに簡単に統合できます。

Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX/MCXD用エクステンションは、接続された MCX*ラックまたはテーブルステーションによって操作および構成されます。追加の 24 チャンネルでは、接続された MCX*ラックまたはテーブルステーションのユーザーの次に高いユーザーにこの拡張機能が割り当てられます。

最大 9 つの Green-GO MCX * EXT チャンネル拡張を MCX*ラックまたはテーブルステーションに接続して、最大 248 チャンネルに直接アクセスできるワークステーションを作成できます。

概観

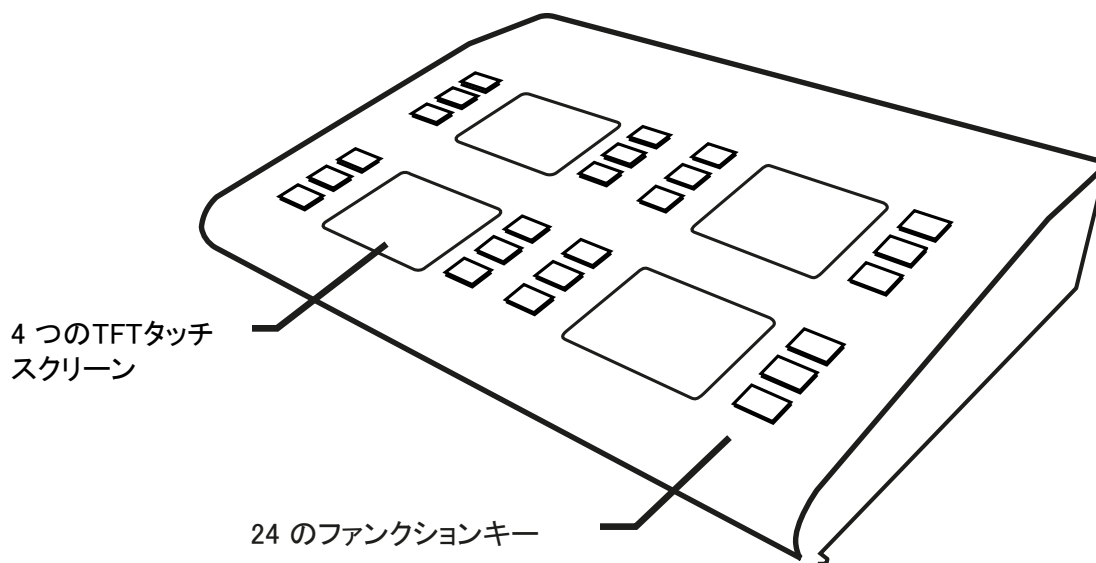
納入品目

Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションは、次のパッケージ内容で提供されます。

納入品目

- ・ 1 x Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンション
- ・ 1 x 外部 12 V 電源
- ・ 1 x クイックスタートガイド
- ・ MCXEXT 24 チャンネルラックエクステンション
- ・ MCXDEXT 24 チャンネルテーブル拡張機能

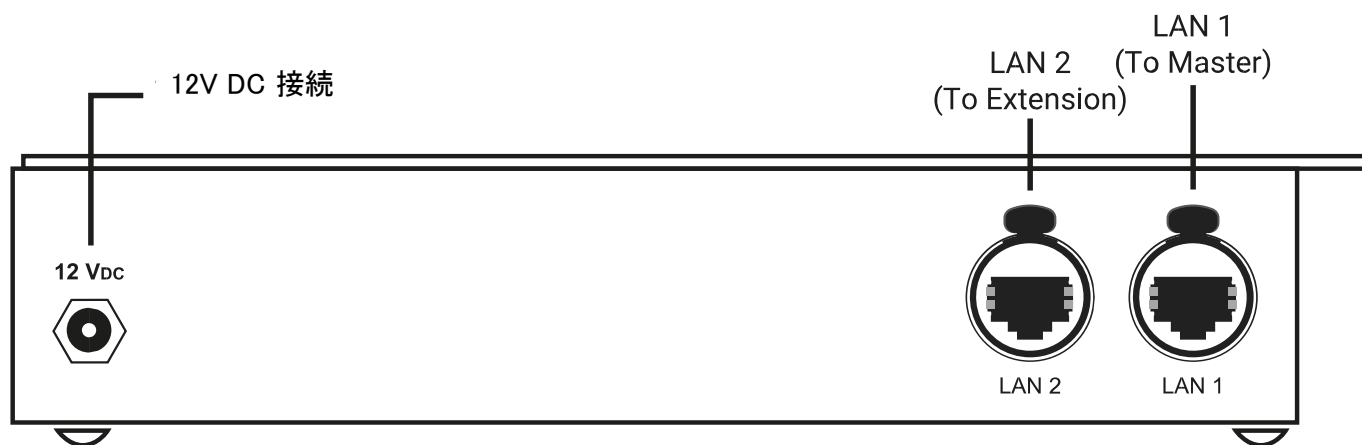
正面図



● 4 つの TFT タッチスクリーン

- ・ チャンネルまたは機能のステータス情報は、3 つのハイコントラスト TFT タッチスクリーン上に明確かつコンパクトに表示されます。タッチスクリーンにより、Green-GO エンジンのさまざまな動作モードの機能に直接アクセスできます。

背面図



• 12V DC 接続

12V DC 接続を介して、デバイスはオプションで利用可能な外部 12V DC 電源で給電できます。

• LAN 1

Green-GO ネットワークへのデータ接続用に切り替えられた 10 / 100Mbps RJ45 ネットワークポート。デバイスは、LAN 1 ネットワークポートを介して **MCX *ラックまたはテーブルステーション**に接続されます。

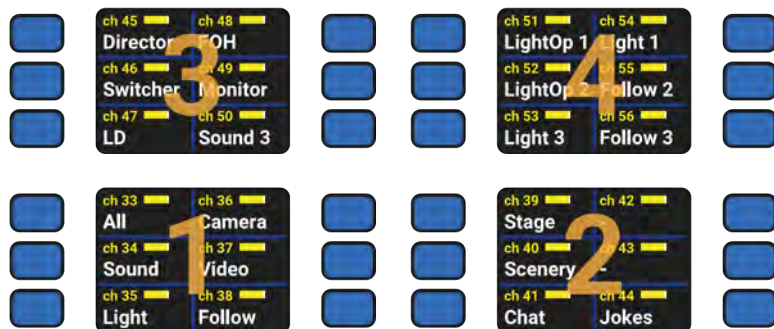
• LAN 2

Green-GO ネットワークへのデータ接続用に切り替えられた 10 / 100Mbps RJ45 ネットワークポート。追加の拡張機能(MCX * EXT)は、LAN 2 ネットワークポートを介して接続できます。

ユーザーインターフェイス

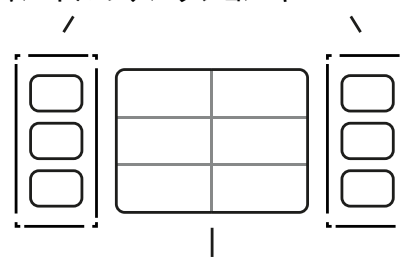
Green-GO MCX * EXT ラックまたはテーブル拡張のユーザーインターフェイスは固定されており、**MCX *ラックまたはテーブルステーション**のように任意には設定できません。Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションは、チャンネルエリアを自動的に割り当てます:チャンネル 33-56、チャンネル 57-80 など。

これは、チャンネル割り当て時に **MCX *ラックまたはテーブルステーション**によって設定または調整できます。



MCXDEXT24 チャンネル拡張のユーザーインターフェイス

チャンネルファンクションキー



各チャンネルのファンクションキーのセクションを備えた TFT タッチスクリーン

・タッチスクリーン

タッチスクリーンはそれぞれ 6 つのセクションに分かれています。各セクションは、直接隣接するファンクションキーにリンクされています。タッチスクリーン部分に触れると、選択した通信モードの機能がトリガーされます。






配信状態では、Green-GO MCXDEXT テーブルエクステンションの下部の 2 つのディスプレイは、リンクされたユーザーのチャンネル 1~12 に設定されています。上部の 2 つのディスプレイにより、リンクされたユーザーのチャンネル 13~24 へのアクセスができます。

Green-GO MCXEXT ラックエクステンションを使用すると、リンクされたユーザーのチャンネル 1~24 が左から右に分割されます。

・ファンクションキー

24 個のファンクションキーは、リンクされたチャンネルへの音声接続を開きます。

さらに、バックライト付きファンクションキーは、現在のチャンネルステータスを色で示します。

-  青:チャンネルは非アクティブです。
-  緑:チャンネルは発言するために開いています。
-  黄:音声信号がチャンネルで受信されています。
-  赤:チャンネルでコールサインを受信しています。
-  赤:(点滅)チャンネルでアラーム信号が受信または送信されています。

アプリケーションノート

チャンネルにリンクされている場合、ファンクションキーを押すと常に音声接続が開きます。この動作は設定で調整できます。詳細については、[MCX *:通信](#)の章を参照してください。

さらに詳しい情報

機能とその操作の詳細については、[機能](#)の章を参照してください。

設定例

デバイスに現在読み込まれている設定を変更することはできません。ただし、セットアップメニューで一時的/ローカルに変更を加えることができます。独自の設定を作成または調整するには、Green-GO コントロールソフトウェアを使用する必要があります。

最も重要な設定ポイントについては、以下で詳しく説明します。設定オプションの完全な概要は、**セットアップメニュー**の章にあります。

これらの設定は再起動後も存続しますが、対応する値が設定ファイルで定義されている場合、新しい設定ファイルを受信すると上書きされます。

セットアップメニュー

原則として、Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションは、接続された **MCX *ラックまたはテーブルステーション**から制御されます。通信モードは、**MCX *ラックまたはテーブルステーション**でアクティブ化されます。チャンネル設定は、**MCX *ラックまたはテーブルステーション**のチャンネル割り当てメニューからも構成できます。

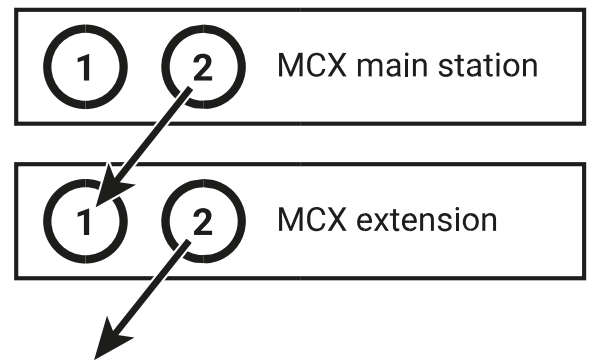
Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションのセットアップメニューは、デバイスがマスター接続で **MCX *ラック**

または**テーブルステーション**に接続されていない場合にのみ使用できます。4 番目の画面は、セットアップファンクションキーを示しています。メニューは、上記の 2 つのファンクションキーで移動します。



MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションを接続する

最大 9 つの Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションは、**MCX *ラックまたはテーブルステーション**に接続できます。これにより、ユーザーは最大 248 できます。これにより、ユーザーは最大 248チャンネルを介して通信できます。拡張機能を **Green-GO MCX *ラックまたはテーブルステーション**に接続するには、テーブルステーションのLAN 2ポートと拡張機能の LAN 1 ポートをネットワークケーブルで接続する必要があります。追加の拡張機能は、最後の拡張機能の後にダイジーチェーンとして接続されます。



MCX *ラックまたはテーブルステーションから MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションに PoE (IEEE 802.3af) は送信されません。エクステンションごとに外部 12 VDC 電源が必要です。

MCX *ラックまたはテーブルステーションのセットアップメニューでは、接続メニューの[セットアップ]メニュー→[接続]→[リモート接続]で正しい接続モードを設定して、拡張機能が正しく処理されるようにする必要があります。拡張機能は、MCX *ラックまたはテーブルステーションの後に次のユーザーを自動的に選択するようになります。拡張機能に関連付けられているユーザーを手動で変更することは、Green-GO コントロールソフトウェアを使えば可能ですが、お勧めできません。このような変更は、設定の再読み込みでは無効になります。

ユーザーを読み込んで変更する

Green-GO MCX *EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションは常に自動的にユーザーにリンクされます。また、MCX *ラックおよびテーブルステーションのユーザーの後に、常に 1 つ上のユーザーID を自動的に割り当てます。

MCX(D)ユーザー名 (ID:n)

MCX(D)EXT 1:ユーザー名 (ID:n + 1)

MCX(D)EXT 2:ユーザー名 (ID:n + 1 + 1)

MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションの目的のユーザーが正しいユーザーID で作成されるように設定を作成することをお勧めします。もしくは、Green-GO コントロールソフトウェアを使用してユーザーIDを変更できます。

チャンネル割り当てを変更する

Green-GO MCX * EXT 24 チャンネルMCX用エクステンションのチャンネル割り当てと設定は、MCX *ラックまたはテーブルステーションのセットアップメニューまたは Green-GO コントロールソフトウェアにより設定されます。

MCX *ラックまたはテーブルステーションでは、チャンネル割り当ては、メニューエントリの[チャンネル割り当てセットアップメニュー]→[チャンネル割り当て]→[CH 33-56]で行います。

次のメニューツリーで、エントリ ID を使用して、直接/プライベート通信またはグループのユーザーを選択できるようになります。

他のすべてのメニュー項目の説明は、セットアップメニューの章にあります。

設定をリセットする

デバイスは、セットアップメニューと[すべての設定をリセット]エントリーの[セットアップメニュー]→[情報]→[すべての設定をリセット]を使用してリセットできます。すべてのローカルおよび一時的な変更は、構成ファイルの値またはデフォルト設定によって上書きされます。ソフトリセットの場合、最後に使用された設定ファイルが保持されます。

セットアップメニュー

セットアップメニューは、[セットアップメニュー](#)の章で説明されているように、表示したりナビゲートしたりできます。サブメニューは、「終了」、「キャンセル」、または「保存」というエントリでいつでも終了できます。

ユーザーは、[セキュリティプロファイル](#)の設定で許可されていれば、セットアップメニューでデバイスと設定ファイルのすべての設定を調整できます。デバイスにリンクされたユーザーの制限設定がアクティブな場合、ユーザーはピンコードの入力が要求されます。

さらに詳しい情報

[セキュリティプロファイル](#)の詳細については、「[接続:セキュリティプロファイル](#)」の章を参照してください。

すべての設定は通常、MCX *ラックまたはテーブルステーションから設定されます。

デバイスオプション

デバイス固有の設定はここにあります。

・バックライト

タッチスクリーンのバックライトのタイムアウト

デフォルト: 30m

設定範囲: 10s , 30s , 1m , 10m , 30m , 1h , 2h

・画面輝度

タッチスクリーンの輝度設定

デフォルト: 5

設定範囲: 低, 2 - 7, 高

・LED 輝度

ファンクションキーの LED バックライトの輝度設定

デフォルト: 5

設定範囲: 低, 2 - 7, 高

ネットワーク

デバイスの EtherCON 接続の[ネットワーク設定](#)。ユーザーは、ダイナミックオンとダイナミックオフの 2 つの動作モードを選択できます。ダイナミックオン/オフメニュー項目をクリックすることにより、ユーザーはモードを切り替えることができます。

ダイナミックオフモードでは、EtherCON 接続の IP アドレスなど、さらに多くの設定項目でメニューが拡張されます。

・ダイナミックオン

このモードは、DHCP サーバー経由でネットワーク設定を取得しようとします。これが失敗した場合、デバイスは 169.254.0.0/16 の範囲から RFC 3927に従って IPアドレスを自身に割り当てます。

このモードは工場出荷時の設定でアクティブです！

・ダイナミックオフ

このモードは、ネットワーク設定を手動で構成するための設定項目を提供します。

オプションの説明

・IP アドレス

デバイスの IP アドレス。

標準を遵守してください！

ローカル/プライベートネットワークでの使用も意図されている IP アドレスの領域のみを使用してください。これらは標準 RFC 1597 で定義されています。

ネットワークアドレス範囲	CIDR 表記	サブネットマスク	アドレス	クラス
10.0.0.0 ~ 10.255.255.255	10.0.0.0/8	255.0.0.0	16,777,216	クラス A
172.16.0.0 ~ 172.31.255.255	172.16.0.0/12	255.240.0.0	1,048,576	クラス B
192.168.0.0 ~ 192.168.255.255	192.168.0.0/16	255.255.0.0	65,536	クラス C

・ネットマスク

サブネットマスク。これにより、デバイスがローカルに通信できるネットワークアドレス範囲が決まります。

デフォルト: **255.255.0.0**

常に同じサブネットマスクを使用してください！

- **ゲートウェイ**

デバイスが外部ネットワークアドレス範囲のルーターを介して通信できるゲートウェイのアドレス。この設定は、リモート接続でのみ必要です。

デフォルト: **0.0.0.0**

情報

このメニューには、すべての重要なデバイス設定が表示されます。ほとんどのメニュー項目をクリックすると、このメニューを終了できます。

- **名称**

Green-GO ソフトウェアで設定されたデバイス名。

- **設定**

Green-GO ソフトウェアで設定されたデバイス名。

オプションの説明

- **FactDefault**

ロードされた設定ファイルのファイル名。

- **17h28:38**

設定ファイルが最後に変更された時刻。

- **2018 年 11 月 29 日**

設定ファイルが最後に変更された日付。

- **アクセス保護**

設定ファイルで[ブロックされた読み出し]設定がアクティブかどうかを示します。この設定は、Green-GO コントロールソフトウェアの「Configuration Settings」→「Generic」にあります。そして、ソフトウェアインスタンスがデバイスの設定をロードまたは変更するのを防ぎます。

- **SN**

デバイスのシリアル番号。

- **MCXEXT 4a61**

ロードされているファームウェアを表示します。

- **IP**

デバイスの現在の IP アドレス。

- **Mac**

デバイスの MAC アドレス

- **すべての設定をリセット**

デバイスで行われたすべてのローカル設定または一時設定(ネットワーク設定、オーディオおよびチャンネル設定など)をリセットします。

技術仕様

一般

	MCXEXT ラックエクステンション	MCXDEXT テーブルエクステンション
外形寸法(H / W / D)	44mm x 483mm x 155mm	220mm x 155mm x 46mm
重量:	2.13 kg	1.13 kg
接続:	2 x Neutrik EtherCON、1 x 12 V DC 入力	
電源:	外部 12 V DC 電源	
消費電力:	最大 4 W	

安全上の注意と証明書

注意

デバイスを湿気にさらさないでください。感電の恐れがあります！

- ・ CE 宣言
- ・ 安全上の注意(英語)

トラブルシューティング

*EXT を接続したが、画面が黒くなる。

次のことを確認してください。

- * EXT は、LAN 2 ポート(マスター)を介して LAN 1(* EXT)に接続されている。
- MCX *マスターステーションには、ファームウェア > 4a51 がある。
- マスターMCX ステーションが正しい接続モード(セットアップメニュー/接続/マスター接続)である。
- 9 つ以上の* EXT が接続されていない。

接続された* EXT が間違っただユーザーをロードする。

* EXT 拡張子は、設定をロードした後、常に次に高い ID を持つユーザーに自動的に割り当てられます。拡張機能では、ネットワークケーブルの順序が考慮されます。

MCX(D)ユーザー名 (ID:n)

MCX(D)EXT 1:ユーザー名 (ID:n + 1)

MCX(D)EXT 2:ユーザー名 (ID:n + 1 + 1)

疑わしい場合は、このエラーを修正または回避するために、設定で作成したユーザーの ID を変更してください。

MCX*ステーションの背後にあるデバイスが正しく機能しない。

MCX* ステーションがマスター接続モード(セットアップメニュー—接続)の場合、* EXT のみが、MCX ステーションの LAN 2 EtherCON 接続の背後で操作できます。

- 1.各ステーションが拡張機能を使用し、スイッチに個別に配線されていることを確認してください！
- 2.MCX ステーションが拡張機能を使用しない場合は、接続モードをローカル接続に設定する必要があります。

ディスプレイ(S)またはボタンが機能しない。

接続がボードに正しく取り付けられているかどうかを確認してください。前面のボタン、ディスプレイ、ポートは、リボンケーブルでメインボードに接続されています。このケーブルはボードのポートに接続する必要があります。

ファームウェアの更新が失敗しました。

ファームウェアの更新が正常に完了しなかった場合、プロセスを単純に繰り返すことができます。ファームウェアをインストールすることによりデバイスを損傷することはありません。
すべての試行が失敗した場合は、デバイスを強制起動モードで起動し、Green-GO アップデート接続ソフトウェアを使用してファームウェアの転送を再試行します。

- 1.デバイスの電源を切ります。
- 2.起動中にファンクションキー24 を押し続けます。
- 3.ディスプレイが表示されます。

注意

強制起動モードのデバイスは、常に DHCP ネットワーク設定をアクティブ化しています(動的:オン)。ネットワークに DHCP サーバーがない場合、デバイスは 169.254.0.0/16 の範囲から IP アドレスを自分に割り当てます。